



2023年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年4月27日

上場会社名 アステラス製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岡村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートアドボカシー & リレーションズ部長 (氏名) 池田 博光 (TEL) 03(3244)3201

定時株主総会開催予定日 2023年6月22日

配当支払開始予定日 2023年6月1日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	1,518,619	17.2	133,029	△14.6	132,361	△15.6	98,714	△20.4	98,714	△20.4	205,277	△1.4
2022年3月期	1,296,163	3.7	155,686	14.4	156,886	8.0	124,086	2.9	124,086	2.9	208,117	14.7
	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後1株当たり 当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率			
	円 銭		円 銭		%		%		%			
2023年3月期	54.24		54.09		6.7		5.5		8.8			
2022年3月期	67.08		67.05		8.7		6.8		12.0			

(参考) 持分法による投資損益 2023年3月期 1,260百万円 2022年3月期 489百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	2,456,518	1,507,954	1,507,954	61.4	839.26
2022年3月期	2,332,395	1,460,308	1,460,308	62.6	799.26

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	327,767	△84,500	△195,623	376,840
2022年3月期	257,444	△62,413	△216,298	315,986

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	92,393	74.5	6.5
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	109,315	110.6	7.3
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00		55.4	

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,520,000	0.1	288,000	116.5	289,000	118.3	227,000	130.0	227,000	130.0	126.34

コアベースでの連結業績予想は次の通りです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,520,000	0.1	290,000	1.1	228,000	1.5	126.89	

(注)当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) アステラス ファーマ テック株式会社

(注) アステラス ファーマ テック株式会社は、2022年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しています。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2023年3月期	1,809,663,075株	2022年3月期	1,835,851,575株
2023年3月期	12,900,609株	2022年3月期	8,777,623株
2023年3月期	1,820,019,333株	2022年3月期	1,849,713,089株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	613,566	13.1	130,639	23.3	338,241	25.0	314,210	39.6
2022年3月期	542,568	△0.5	105,929	15.2	270,544	21.1	225,095	16.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	172.64		172.57					
2022年3月期	121.69		121.63					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,488,925	1,022,834	68.7	568.97
2022年3月期	1,388,556	873,622	62.9	477.81

(参考) 自己資本 2023年3月期 1,022,298百万円 2022年3月期 872,992百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算短信の開示とあわせて決算補足資料及び決算説明会資料を開示しています。

また、2023年4月27日(木)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けに説明会(ライブ動画配信)を開催する予定です。この説明会の内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
(4) キャピタルアロケーションに関する基本方針及び当期・次期の配当	11
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	12
3. 連結財務諸表及び主な注記	13
(1) 連結純損益計算書	13
(2) 連結包括利益計算書	14
(3) 連結財政状態計算書	15
(4) 連結持分変動計算書	17
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	19
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	20
(継続企業の前提に関する注記)	20
(セグメント情報)	20
(1株当たり当期利益)	21
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の連結業績の概況

<連結業績(コアベース^(注))>

当期(2022年4月1日から2023年3月31日)の連結業績(コアベース)は下表のとおりです。
売上収益、コア営業利益、コア当期利益はいずれも増加しました。

[連結業績(コアベース)]

(単位:百万円)

	前期 (2022年3月期)	当期 (2023年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,296,163	1,518,619	+222,456 (+17.2%)
売上原価	253,009	288,353	+35,344 (+14.0%)
販売費及び 一般管理費	548,840	630,272	+81,432 (+14.8%)
研究開発費	246,010	276,128	+30,118 (+12.2%)
無形資産償却費	28,283	38,436	+10,153 (+35.9%)
無形資産譲渡益	24,234	212	△24,022 (△99.1%)
持分法による投資損益	489	1,260	+771 (+157.8%)
コア営業利益	244,744	286,902	+42,158 (+17.2%)
コア当期利益	190,584	224,619	+34,035 (+17.9%)
基本的1株当たり コア当期利益(円)	103.03	123.42	+20.38 (+19.8%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

- ・ 主要製品の前立腺がん治療剤XTANDI／イクスタンジ、尿路上皮がん治療剤パドセブ、急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタの売上が拡大しました。これらのほか、日本における骨粗鬆症治療剤イベニティの売上も増加し、増収に貢献しました。

以上の結果、売上収益は1兆5,186億円（前期比17.2%増）となりました。

【コア営業利益／コア当期利益】

- ・ 売上総利益は、1兆2,303億円（同17.9%増）となりました。売上原価率は、前期に比べ0.5ポイント低下し、19.0%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、6,303億円（同14.8%増）となりました。グローバルでのコマーシャル要員の最適化による費用減少（同約80億円減）や、成熟製品における費用の削減（同約80億円減）があった一方で、新製品の立ち上げ・発売に向けた準備費用の増加（同約120億円増）や為替の影響（同803億円増）を受け、総額として増加しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、4,548億円（同11.1%増）となり、為替の影響を除くと前期比較で減少しました。
- ・ 研究開発費は、2,761億円（同12.2%増）となりました。為替の影響（同275億円増）に加え、第1四半期に選択的ニューロキニン3受容体拮抗薬fezolinetantの優先審査を目的にPriority Review Voucherを使用したことに伴う費用（137億円）を計上したことにより、総額として増加しました。売上収益研究開発費比率は、前期に比べ0.8ポイント減少し、18.2%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、384億円（同35.9%増）となりました。

以上の結果、コア営業利益は2,869億円（同17.2%増）、コア当期利益は2,246億円（同17.9%増）となりました。

【為替の業績への影響】

当期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては1,644億円の増加、コア営業利益においては401億円の増加の影響がありました。

期中平均レート	前期	当期	変動
米ドル/円	112	135	23円安
ユーロ/円	131	141	10円安

期首・期末の変動	前期	当期
米ドル/円	11円安	11円安
ユーロ/円	5円安	9円安

<連結業績(フルベース)>

当期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。
売上収益は増加しましたが、営業利益及び当期利益は減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当期における「その他の収益」は36億円（前期：153億円）となりました。

「その他の費用」として、第4四半期において、抗Claudin18.2モノクローナル抗体ゾルベツキシマブの条件付対価の公正価値の増加（386億円）、エベレンゾの将来計画の見直しに伴う無形資産の減損損失（471億円）、FX-322の開発中止に伴う無形資産の減損損失（86億円）、Adaptimmune Therapeutics plc.との契約解約に伴う無形資産の減損損失（46億円）などを計上しました。加えて、第1四半期に計上した遺伝子治療プログラムAT702、AT751、AT753の研究開発中止に伴う無形資産の減損損失（230億円）や fezolinetantの米国承認申請に伴い発生した条件付対価の公正価値の増加（132億円）などの計上もあり、当期における「その他の費用」は1,575億円（前期：1,043億円）となりました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前期 (2022年3月期)	当期 (2023年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,296,163	1,518,619	+222,456 (+17.2%)
営業利益	155,686	133,029	△22,657 (△14.6%)
税引前利益	156,886	132,361	△24,525 (△15.6%)
当期利益	124,086	98,714	△25,372 (△20.4%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	67.08	54.24	△12.85 (△19.1%)
包括利益	208,117	205,277	△2,840 (△1.4%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前期 (2022年3月期)	当期 (2023年3月期)	増減率
XTANDI／イクスタンジ	5,343	6,611	+23.7%
パドセブ	217	444	+104.4%
ゾスパタ	341	466	+36.7%
エベレンゾ	26	32	+23.0%
ベタニス／ミラベトリック ／ベットミガ	1,723	1,886	+9.5%
プログラフ*	1,854	1,988	+7.2%

*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

<XTANDI／イクスタンジ>

- ・ 全ての地域で売上が拡大し、グローバル売上は前期と比較して増加しました。特にエスタブリッシュドマーケット*¹、日本及びインターナショナルマーケット*²において処方が伸長し、売上の拡大に貢献しました。

<パドセブ>

- ・ 米国において、これまでに承認を取得した適応症の患者層に対する推奨治療のオプションとしてのポジショニングを確立したことにより、売上が増加しました。日本においても、推奨治療オプションとしての浸透が進み、新規患者数が大きく増加し、売上が増加しました。また、欧州においては、2022年4月の承認以降、発売国が着実に拡大し、売上の増加に貢献しました。

<ゾスパタ>

- ・ 高いマーケットシェアを獲得している米国や欧州、日本での継続的な成長に加えインターナショナルマーケットでは発売国が増加するなど、全ての地域で売上が増加しました。

<エベレンゾ>

- ・ 欧州においては発売国が増加したことに伴い売上が拡大した一方、日本では市場の競合激化の影響を受け売上が減少しました。

<ベタニス／ミラベトリック／ベットミガ>

- ・ 地域ごとに増減はあったものの、グローバルの売上は拡大しました。

<プログラフ>

- ・ グローバルの売上は増加しました。

* 1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ

* 2 インターナショナルマーケット：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、オーストラリア、輸出売上等

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。全ての地域において、売上収益が増加しました。

(単位：億円)

	前期 (2022年3月期)	当期 (2023年3月期)	増減率
日本	2,588	2,623	+1.4%
米国	5,375	6,524	+21.4%
エスタブリッシュド マーケット*1	3,065	3,584	+16.9%
グレーターチャイナ*2	663	800	+20.7%
インターナショナル マーケット*3	1,187	1,447	+21.9%

(注) 当期から、オーストラリアのコマーシャル区分をエスタブリッシュドマーケットからインターナショナルマーケットに変更しています。前期の金額は当該変更を反映しています。

*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ

*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

*3 インターナショナルマーケット：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、オーストラリア、輸出売上等

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当期末（2023年3月31日時点）の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下のとおりです。

【資産】

総資産は2兆4,565億円（前期末比1,241億円増）となりました。

＜非流動資産＞当期末：1兆4,066億円（同25億円減）

- ・ 有形固定資産は、2,865億円（同174億円増）となりました。
- ・ のれんは3,284億円（同254億円増）、無形資産は5,625億円（同609億円減）となりました。
- ・ 第4四半期において、エベレンゾの将来計画の見直しに伴う無形資産の減損損失、FX-322の開発中止に伴う無形資産の減損損失、Adaptimmune Therapeutics plc.との契約解約に伴う無形資産の減損損失を計上したことなどにより、無形資産が減少しました。

＜流動資産＞当期末：1兆500億円（同1,266億円増）

- ・ 現金及び現金同等物は3,768億円（同609億円増）となりました。

【資本】

資本合計は、1兆5,080億円（同476億円増）となり、親会社所有者帰属持分比率は61.4%となりました。

- ・ 当期利益987億円を計上した一方で、剰余金の配当1,004億円に加え、自己株式の取得606億円を実施しました。
- ・ なお、2023年3月に477億円（2,618万株）の自己株式を消却しました。

（注）株式数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

【負債】

負債の合計は、9,486億円（同765億円増）となりました。

＜非流動負債＞当期末：2,225億円（同379億円増）

- ・ その他の金融負債は、第3四半期において、普通社債500億円を発行したことなどにより、1,399億円（同440億円増）となりました。

＜流動負債＞当期末：7,260億円（同386億円増）

- ・ その他の金融負債は1,801億円（同48億円減）となりました。そのうち、コマーシャル・ペーパーの残高は750億円となりました。
- ・ その他の流動負債は3,827億円（同599億円増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、3,278億円（前期比703億円増）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額は695億円（同274億円増）となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△845億円（同221億円支出増）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△1,956億円（同207億円支出減）となりました。

- ・ 第3四半期において、普通社債を発行したことにより、社債の発行及び長期借入れによる収入が500億円ありました。
- ・ 配当金の支払額は1,004億円（同151億円増）となりました。また、自己株式の取得による支出606億円（同98億円支出増）がありました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、3,768億円（前期末比609億円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、次期の連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。通期連結業績予想（コアベース）は以下のとおりです。

[通期連結業績予想（コアベース）] (単位：百万円)

	当期実績 (2023年3月期)	次期予想 (2024年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,518,619	1,520,000	+1,381 (+0.1%)
販売費及び 一般管理費	630,272	661,000	+30,728 (+4.9%)
研究開発費	276,128	251,000	△25,128 (△9.1%)
コア営業利益	286,902	290,000	+3,098 (+1.1%)
コア当期利益	224,619	228,000	+3,381 (+1.5%)
基本的1株当たり コア当期利益(円)	123.42	126.89	+3.47 (+2.8%)

(注) 基本的1株当たりコア当期利益の予想は、2023年3月末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しています

[通期の想定為替レート]

2024年3月期(想定)：130円/米ドル、140円/ユーロ

2023年3月期(実績)：135円/米ドル、141円/ユーロ

売上収益、コア営業利益、コア当期利益はいずれも当期と同水準を予想しています。

次期の為替レートは、当期実績に比ベドル、ユーロともに円高になることを想定していることから、当期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては408億円の減少、コア営業利益においては87億円の減少の影響を見込んでいます。

【売上収益】

売上収益は1兆5,200億円（当期比0.1%増加）を予想しています。

- ・ パドセブは、米国におけるシスプラチン不適応の尿路上皮がん患者における一次治療の追加適応症取得による貢献を中心に、グローバルで大きく成長する見通しです。XTANDI/イクスタンジやゾスパタも引き続きグローバルで増加する見通しです。一方で、後発品の影響による心機能検査補助剤レキスキャンの売上減少や為替の影響により、売上収益は当期と同水準を見込んでいます。

【コア営業利益/コア当期利益】

- ・ 売上原価率は当期と同水準になる見込みです。
- ・ 販売費及び一般管理費については、主にfezolinetant承認後の販促活動に対する投資や、ゾルベツキシマブの上市に向けた準備に対する投資の拡大により、6,610億円（同4.9%増）を予想しています。
- ・ 研究開発費は、Primary Focusへの投資が拡大することを見込んでいます。一方で、当期にfezolinetantの優先審査を目的にPriority Review Voucherを使用したことに伴う費用137億円を計上したことが当期比較で減少要因となります。また、重点戦略製品の開発費用が減少することにより2,510億円（同9.1%減）を予想しています。

以上の結果、コア営業利益は2,900億円（同1.1%増）を予想しています。また、コア当期利益は2,280億円（同1.5%増）、基本的1株当たりコア当期利益は126.89円（同2.8%増）を予想しています。

【主要製品の売上】

（単位：億円）

	当期実績 (2023年3月期)	次期予想 (2024年3月期)	増減率
XTANDI/イクスタンジ	6,611	6,699	+1.3%
パドセブ	444	667	+50.1%
ゾスパタ	466	493	+6.0%

通期連結業績予想（フルベース）は以下のとおりです。

【通期連結業績予想（フルベース）】

（単位：百万円）

	当期実績 (2023年3月期)	次期予想 (2024年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,518,619	1,520,000	+1,381 (+0.1%)
営業利益	133,029	288,000	+154,971 (+116.5%)
税引前利益	132,361	289,000	+156,639 (+118.3%)
当期利益	98,714	227,000	+128,286 (+130.0%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	54.24	126.34	+72.1 (+132.9%)

（注）基本的1株当たり当期利益の予想は、2023年3月末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しています

【通期の想定為替レート】

2024年3月期（想定）：130円/米ドル、140円/ユーロ

2023年3月期（実績）：135円/米ドル、141円/ユーロ

当期において、コアベースの業績では除外される「その他の費用」を計上したことにより、営業利益はコア営業利益と比較して1,539億円低い数字となりました。

次期においては、営業利益、税引前利益及び当期利益はいずれも増加を予想しています。

(4) キャピタルアロケーションに関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の持続的向上に努めるとともに、株主還元にも積極的に取り組んでいます。成長を実現するための事業投資を優先しながら、配当については、連結ベースでの中長期的な利益成長に基づき、安定的かつ持続的な向上に努めます。また、自己株式の取得を必要に応じて機動的に実施し、資本効率の改善と1株当たり利益の向上を図ります。

当期の年間配当金については、1株当たり60円（うち期末配当金として30円）としました。

また、当期において、2,618万株（金額として500億円）の市場買付けによる自己株式取得を実施しました。

次期の年間配当金については、1株当たり70円（うち中間配当金として35円、期末配当金として35円）を予想しています。

(注) 株式数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目指し、2014年3月期決算から国際会計基準（IFRS）を適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結純損益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上収益	1,296,163	1,518,619
売上原価	△253,009	△288,353
売上総利益	1,043,154	1,230,266
販売費及び一般管理費	△548,840	△630,272
研究開発費	△246,010	△276,128
無形資産償却費	△28,283	△38,436
無形資産譲渡益	24,234	212
持分法による投資損益	489	1,260
その他の収益	15,256	3,642
その他の費用	△104,314	△157,515
営業利益	155,686	133,029
金融収益	6,149	8,110
金融費用	△4,949	△8,779
税引前利益	156,886	132,361
法人所得税費用	△32,800	△33,647
当期利益	124,086	98,714
当期利益の帰属		
親会社の所有者	124,086	98,714
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	67.08	54.24
希薄化後1株当たり当期利益(円)	67.05	54.09

(2) 連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期利益	124,086	98,714
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△5,078	8,733
確定給付制度の再測定	2,512	7,175
小計	△2,566	15,908
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	86,597	90,655
小計	86,597	90,655
その他の包括利益	84,031	106,563
当期包括利益合計	208,117	205,277
当期包括利益の帰属 親会社の所有者	208,117	205,277

(3) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	269,044	286,459
のれん	303,030	328,411
無形資産	623,431	562,496
売上債権及びその他の債権	29,796	24,173
持分法で会計処理されている投資	10,035	12,689
繰延税金資産	72,331	84,169
その他の金融資産	91,844	97,886
その他の非流動資産	9,531	10,280
非流動資産合計	1,409,041	1,406,564
流動資産		
棚卸資産	153,072	174,386
売上債権及びその他の債権	382,462	427,965
未収法人所得税	21,539	17,813
その他の金融資産	21,297	19,784
その他の流動資産	28,997	32,428
現金及び現金同等物	315,986	376,840
小計	923,354	1,049,216
売却目的で保有する資産	—	738
流動資産合計	923,354	1,049,954
資産合計	2,332,395	2,456,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	179,467	181,280
自己株式	△13,934	△25,123
利益剰余金	944,261	908,158
その他の資本の構成要素	247,512	340,640
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,460,308	1,507,954
資本合計	1,460,308	1,507,954
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	676	4,217
繰延税金負債	5,823	6,048
退職給付に係る負債	37,226	24,818
引当金	5,831	6,537
その他の金融負債	95,886	139,924
その他の非流動負債	39,234	40,987
非流動負債合計	184,676	222,530
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	130,739	140,236
未払法人所得税	32,388	5,137
引当金	16,570	17,855
その他の金融負債	184,964	180,131
その他の流動負債	322,751	382,675
流動負債合計	687,411	726,034
負債合計	872,087	948,564
資本及び負債合計	2,332,395	2,456,518

(4) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2021年4月1日残高	103,001	177,830	△15,377	953,289	745	147,024
当期包括利益						
当期利益	—	—	—	124,086	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	86,597
当期包括利益合計	—	—	—	124,086	—	86,597
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△50,717	—	—	—
自己株式の処分	—	△391	735	△229	△115	—
自己株式の消却	—	—	51,427	△51,427	—	—
配当金	—	—	—	△85,236	—	—
株式報酬取引	—	2,028	—	—	—	—
振替	—	—	—	3,777	—	—
所有者との取引額合計	—	1,638	1,444	△133,114	△115	—
2022年3月31日残高	103,001	179,467	△13,934	944,261	630	233,621
当期包括利益						
当期利益	—	—	—	98,714	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	90,655
当期包括利益合計	—	—	—	98,714	—	90,655
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△60,556	—	—	—
自己株式の処分	—	△1,442	1,680	△118	△94	—
自己株式の消却	—	—	47,686	△47,686	—	—
配当金	—	—	—	△100,355	—	—
株式報酬取引	—	3,254	—	—	—	—
振替	—	—	—	13,342	—	—
所有者との取引額合計	—	1,812	△11,190	△134,817	△94	—
2023年3月31日残高	103,001	181,280	△25,123	908,158	536	324,276

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計		
2021年4月1日残高	19,604	—	167,373	1,386,115	1,386,115
当期包括利益					
当期利益	—	—	—	124,086	124,086
その他の包括利益	△5,078	2,512	84,031	84,031	84,031
当期包括利益合計	△5,078	2,512	84,031	208,117	208,117
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△50,717	△50,717
自己株式の処分	—	—	△115	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△85,236	△85,236
株式報酬取引	—	—	—	2,028	2,028
振替	△1,265	△2,512	△3,777	—	—
所有者との取引額合計	△1,265	△2,512	△3,893	△133,925	△133,925
2022年3月31日残高	13,261	—	247,512	1,460,308	1,460,308
当期包括利益					
当期利益	—	—	—	98,714	98,714
その他の包括利益	8,733	7,175	106,563	106,563	106,563
当期包括利益合計	8,733	7,175	106,563	205,277	205,277
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△60,556	△60,556
自己株式の処分	—	—	△94	27	27
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△100,355	△100,355
株式報酬取引	—	—	—	3,254	3,254
振替	△6,167	△7,175	△13,342	—	—
所有者との取引額合計	△6,167	△7,175	△13,435	△157,630	△157,630
2023年3月31日残高	15,827	—	340,640	1,507,954	1,507,954

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	156,886	132,361
減価償却費及び無形資産償却費	79,684	105,738
減損損失(又は戻入れ)	74,850	84,499
金融収益及び金融費用	△1,200	668
棚卸資産の増減額	24,058	△7,086
売上債権及びその他の債権の増減額	△8,001	△4,849
仕入債務及びその他の債務の増減額	△10,101	△12,274
その他	△16,639	98,189
小計	299,537	397,246
法人所得税の支払額	△42,093	△69,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,444	327,767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,739	△36,441
無形資産の取得による支出	△45,709	△52,100
無形資産の売却による収入	24,281	212
資本性金融商品の売却による収入	5,576	12,624
子会社の取得による支出	△670	—
利息及び配当金の受取額	716	4,558
その他	△15,869	△13,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,413	△84,500
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額	△30,000	△15,000
社債の発行及び長期借入れによる収入	—	50,000
社債の償還及び長期借入金の返済による支出	△30,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△50,717	△60,556
親会社の所有者への配当金の支払額	△85,236	△100,355
リース負債の返済による支出	△17,815	△16,495
その他	△2,530	△3,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216,298	△195,623
現金及び現金同等物の為替変動による影響	11,125	13,210
現金及び現金同等物の増減額	△10,143	60,854
現金及び現金同等物の期首残高	326,128	315,986
現金及び現金同等物の期末残高	315,986	376,840

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの主要な事業内容は医薬品の研究開発、製造及び販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは医薬品事業単一となっています。

製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上収益は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
XTANDI／イクスタンジ	534,317	661,118
プログラフ	185,362	198,777
ベタニス／ミラベトリック／ベットミガ	172,293	188,575
その他	404,191	470,148
合計	1,296,163	1,518,619

地域に関する情報

売上収益及び非流動資産の地域別内訳は次のとおりです。

地域別売上収益

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
日本	268,940	284,844
米国	544,103	658,247
その他	483,120	575,528
合計	1,296,163	1,518,619

(注) 地域別売上収益は、当社グループ各社の所在地を基礎として分類しています。

地域別非流動資産（有形固定資産・のれん及び無形資産）

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
日本	410,425	349,083
米国	674,761	710,513
その他	110,318	117,771
合計	1,195,505	1,177,367

主要な顧客に関する情報

連結純損益計算書の売上収益の10%以上を占める相手先は次のとおりです。

(単位：百万円)

	関連するセグメント名	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
McKesson Group	医薬品事業	218,745	259,992
AmerisourceBergen Group	医薬品事業	113,377	166,934

(1株当たり当期利益)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	124,086	98,714
親会社の普通株主に帰属しない当期利益(百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	124,086	98,714
加重平均普通株式数(千株)	1,849,713	1,820,019
希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	124,086	98,714
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	124,086	98,714
加重平均普通株式数(千株)	1,849,713	1,820,019
希薄化性潜在的普通株式の影響(千株)	889	5,042
希薄化効果調整後加重平均普通株式数(千株)	1,850,602	1,825,061
1株当たり当期利益(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益(円)	67.08	54.24
希薄化後1株当たり当期利益(円)	67.05	54.09

(重要な後発事象)

該当事項はありません。